

## 令和3年度8月教育委員会 会議録

|        |  |   |
|--------|--|---|
| 開催日時   | 令和3年8月27日（金） 13:30～15:00   |   |
| 開催場所   | 町民総合会館 研修室   |   |
| 出席者    | 委員   | 徳山順子教育長、竹井成範委員、栗坂祐子委員、市橋晃委員                       |
|        | 事務局  | 村木美晴生涯学習課長、水玉匠紀学校教育課長、猪木浩二課長補佐<br>吉見一成課長補佐、石原知子主幹 |
| 会議次第   | 1 開会<br>教育長あいさつ<br>2 議事・報告案件<br>(1) 早島町町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について<br>(2) 学力・学習状況調査について<br>(3) 読書活動の推進に向けて<br>(4) その他<br>・学校園における新型コロナウイルスへの対応について<br>・主権者教育について<br>3 連絡<br>4 閉会 |   |
| 会議資料   |  |   |
| 傍聴者    |  |   |
| 会議録作成者 | 石原 知子  |   |

### 会議内容

#### 1 開会

##### 教育長あいさつ

教育長：現在、パラリンピックが行われており、井上全悠選手の活躍が大変楽しみである。今年度もぜひ花ごぞピンポン世界大会にお越しいただきたいと考えている。25日から小中学校の2学期がスタートした。非常事態宣言が出されているので、感染症対策を徹底して学校活動を行っていききたい。学校行事についても、宣言期間中は、延期もしくは縮小して実施をしたい。今後は、オンライン授業も視野に入れて学習の在り方を考えていきたい。

山陽新聞社の編集室長さんが「子ども議会」や「熟議」についての活動を大きく取り上げてくれた。これがまさに主権者教育につながる取り組みであると意味

づけて発信してくれた。子どもたちは未来の町民であり、町の改善策を考え、活性化に参画していくことは大切である。ユニセフの「子どもの権利条約」でも、意見を表明することの大切さを述べている。

先日、全国学力学習・状況調査の結果が出たが、子どもたちは育てたように育っていることを改めて感じる結果となった。後ほど結果についてお知らせしたい。本日は、総合会議も含め長時間の会議となるがよろしくをお願いしたい。

## 2 議事・報告案件

### (1) 早島町町民総合会館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について

吉見課長補佐：指定管理者制度についての資料をご覧いただきたい。町民総合会館を民間の施設管理のノウハウを活用して、より適正なコストで効果的かつ長期的に維持管理し、施設の活性化を図るために、指定管理者制度の導入を目指したいと考えている。当初の指定期間は3年としている。条例改正については、利用料、指定管理者による管理、業務、管理者の公募、選定委員会の設置、報酬、費用弁償、指定管理者の権限、事業報告、指定の取り消しなどを改正の条文として議会に提出する予定である。

教育長：条例改正の内容等についてご意見があればお願いしたい。現在、いかしの舎、観光センターなどが指定管理となっている。

竹井委員：以前は、宗教的な行事は開かれないなどのルールがあったが、指定管理に変わった場合、また規制がかかるようなことがあるのか。

吉見課長補佐：基本的には、指定管理者に移行することで、現行のルールが大きく変わることはないと考えている。

教育長：条例の改正についてはよろしいか。

全委員：了承した。

### (2) 学力・学習状況調査について

教育長：学力・学習状況調査について結果が返ってきた。岡山県学力学習状況調査、全国学力学習状況調査ともに、8月31日が公表となっているため、保護者には、9月上旬に結果を返すことになる。全国学力・学習状況調査については、小6、中3とも、全国平均を上回り、成果が出てきた。中3も肯定的な項目が多く、学年が上がるにつれて大きく成長している様子が分かる。また、家庭学習時間はすごく伸びており、学習意欲や自己肯定感が高まっていることが分かる。また、小6も肯定的な意見が多く、学力も伸びてきている。

岡山県学力・学習状況調査については、小学校での課題が大きいですが、中学校になると、少しずつ学力が上向いてくる。小学校では、授業中で基礎基本の定着が十

分でなく、一単位時間のタイムマネジメントの充実が必要である。また、家庭での時間の使い方について、学習、読書、新聞を読む時間が短く、活字離れが進んでいると感じている。今回の結果を受けて、学力向上検討委員会を開催し授業改善を図っていくが、調査結果について意見を伺いたい。

栗坂委員：毎年、小学校に課題があると聞いているが、なぜ改善が難しいのか考えていく必要がある。小学校として、結果が教員の我がごとになっているのか。そこが大きな問題なのではないか。

教育長：教員は取り組もうと努力をされており、調査問題を分析したり、授業改善を図ってはいるが、人事面で若手教員や講師が多く、授業力がやや下がっている現状もある。早島で教師を育て、力をつけて町外に出しているが、転勤してくる教員には40代50代の教員が少なく、人事面でも強くお願いしているところである。

栗坂委員：家庭での学習時間の短さは大きな課題であり、これは、家庭との協力によって変わるのではないかと思う。

教育長：コロナ禍で、子どもたちが家庭で過ごす時間も多と思うが、主体的な学びができていたか、大変気になっているところであり、振り返る必要がある。ぜひPTAとも協力をして家庭での過ごし方について考える機会を作りたい。

竹井委員：平均正答率だけでなく、分布がどうなっているかも気になる。

市橋委員：平均正答率を上げるには、下位の児童の力をつけていく必要がある。習熟度を取り入れる必要があるのではないか。他県では、習熟度別指導が当たり前になっているので、岡山県が遅れているのではないかと心配になる。ぜひ取り入れていくべきではないか。

教育長：現在、中学校では、習熟度別指導を数学・英語で取り入れているが、生徒に好評である。学力調査の結果を受けて、学校で基礎基本の徹底を図るとともに、家庭での連携は不可欠であり、授業で学んだことの復習や自主学習が家庭で主体的に取り組めるよう、児童生徒に指導していきたい。

学力調査についてはよろしいか。

全委員：了承した。

### (3) 読書活動の推進に向けて

教育長：令和3年度中学生の読書環境に関する実態調査の結果について調査結果が出た。中学生の不読率は、12.8%であり読書をしない理由として「他にしたいことがある」「今、読みたい本・絵本がない」などが挙げられている。また、最近1か月に読書をした中学生のうち、マンガのみを読んでいる中学生の割合は、1割程度ある。

村木課長：パソコンやタブレットで読むことができる電子図書館についても町立図書館への問い合わせ等があるが、コスト面での難しさがある。学校で、同じ図書や

資料が何冊も必要な場合はデジタル化されると便利であると感じている。

市橋委員：人気のある本はなかなか借りることができない、予約してまで読まないという子どもたちの声を聞いている。

教育長：子どもたちが本を手に取りやすい環境を整えることが大切である。  
読書活動の推進についてよろしいか。

全委員：了承した。

### 3 連絡

教育長：9月の日程についてお示ししている。都合が合えば、土曜授業等を参観していただきたい。この後、総合教育会議があるので引き続きよろしくお願いたい。

### 4 閉会

※ 次回の教育委員会は、9月10日（金）の予定である。